

＜第107回キャンパス・サミット資料＞

平成29年6月20日

社会環境学部の「里山ビオトープ」と新宮町「人丸公園ビオトープ」活動報告

坂井宏光

**1. 里山・ビオトープ活動**～福工大構内の里山・ビオトープ活動は平成18年3月から始まり、可能な限り持続的に自然環境を維持保全して発展させてきました。そして、地域の皆様と学生達が自然観察会などで交流の輪を広げています。

平成29年度のビオトープ活動は、4月29日（土）に第44回（春）の自然観察会を開催しました。参加者は地域住民8名、学生31名で、「春に身近で食べられる野草～味覚で春を感じよう！」を楽しみました（下の写真、自然観察とヨモギ入りホットケーキや団子試食）。**次回は、7月8日（土）第45回（夏）の自然観察会を開催いたします。**是非、福岡県内でも生物多様性が豊かな本学の里山・ビオトープで、昆虫採取や世代を超えた交流もお楽しみください。

6月2日にNPO法人日本ビオトープ協会の第9回ビオトープ顕彰で、社会環境学部の里山・ビオトープ活動が実践的な環境教育を行い社会貢献している優れたモデルとして評価され、「環境教育賞」を受賞しました。



**2. 新宮町「人丸公園ビオトープ」活動**～ 地域環境連携活動の一環として、新宮町60周年記念事業の一つで設置された人丸公園ビオトープでの環境保全や環境学習を推進するため、自然観察や生態系調査、交流活動を行っています。

5月10日（水）午後に「環境基礎演習」の授業で学生25名と教員1名、新宮町職員2名が参加して、自然観察しながら生物調査を行いました（下の写真）。絶滅危惧種のカスミサンショウウオの幼生やニホンアカガエルなどを見つけました。地域の子供達も途中参加して、楽しく感動的な生き物観察を行いました。

